にっこり ひろば

令和2年 9月25日
栄二丁目自治会 広報誌 第 34号
自治会長　大月孝彦

自分たちの地域は 自分達で守ろう !!

東大和市第七分団
分団員募集

応募資格
市内在住・在勤の男性
年齢 18歳以上 60歳未満

連絡先 /市役所
防災安全課
☎042-563-2111

第七分団 上岡です。
広報担当 (元)分団長

こんにちは、私達は、日常の仕事をしながら、(災害、火災、水害、震災等)が起きた時にボランティアで消防活動をしております。

私が20歳の時(32年前)第七分団に入団した頃は、各自治会選抜の方、市職員、地元商店街のメンバー等で構成されておりました。

当時は自治会組織が強かったので、地域ごとに長男は消防団に入る！と言った風習もあったとか？ 聞いたこともあります。

しかし、現在は29名の定員に対して、半数にも満たない状態です。

さらに、平均年齢が40代となり、その中で私を含め3名が50代です。このままの状態が続くと、数年後には定年で退団を余儀なくされ、団員不足に拍車をかけます。

震災等で同時多発火災が起きれば、消防署だけでは手に負えません。**消防団は必要不可欠です。**

市内で一番人口の多い南街地域です。第七分団が存続できなければ、誰がこの地域を守ってくれるのでしょうか？ 第七分団は、地域のものです。 地域に住む自分達が存続させなければならないのです。親、子、地域を守ることが大切です。

一人でも多くの団員を増やしたい思いで、"にっこり"書面を借りて御挨拶させて頂きました。私達、第七分団々員は、

「自分達の地域は、自分達で守る !!」をスローガンに、日々活動しています。是非一緒に活動しましょうm(_)m。

「"にっこり" を通して消防団員を募らせて下さい」の声に協力！
大切な・・・ を守る　自薦、推薦 結構です 宜しくお願いします。

祝敬老の日

いつまでも お元気 で

コロナ感染対策に、マスク着用、手洗い、うがい、ソーシャルディスタンス等が日常化されたものの、感染者はなかなか減らないです。落ち着いたからと、油断は禁物、お互いに気を付けましょう。

さて、今年も早いもので敬老の日を迎えました。

「にっこり」を作成していて思うことは、一年経つのが早いです。

9月現在での当自治会敬老対象者(70歳以上)は、男性31名、女性40名となっています。

東京都の平均寿命(平成29年度、男81・09歳 /女87・歳26)健康寿命(65歳と、共に延びています。

以前、高齢対象者は65歳以上でしたが、7~8年前から70歳以上に変更となりました。

高齢の為に、思う様にいかず、行事参加を控えている方、長期に渡り、会員として頑張って来た方達へのご褒美と思えば良いのではないでしょうか。先送りされる気持ちには寂しいものがあります。

一人当たりの金額は僅かですし、楽しみにしている方がいる限り続行したいです。

皆さんご存知だと思いますが、当自治会の交流会は会費制で実施されることが多いです。でも、祭礼は寄付金で賄っており、こうした寄付も、大抵が古くから当自治会の存続を大切に思って下さる方々です。感謝の気持ちです。

下記にも後継者、記されている通り若い力が必要です。仕事と地域活動の両立は難しいと思いますが、留守は預かります。ここぞと言う時に、知恵と力、そして若い方の行動力を期待しております。

◎役員会からのお知らせ

今年のお品は、コロナの影響もありますので、食品でのご提供は中止とし、「コロナに負けない」を願って「マスク」を進呈させて頂きました。

○今年度の役員さんから、

・「敬老の祝い品、毎年でないとダメですか？」

・「5年置き とか80歳以上の方に配るに改めませんか。」等の質問がありました。

○東京都へ申請しておりました「防災倉庫の設置の件」、認可されましたので自治会費にて購入し、10月14日に設置致します。

〔設置場所〕
子ども広場(石丸様方東側)

後継者

東京都に申請する品物の相談に上岡電機店へ行く。上岡氏と雑談しているうちに、第七分団の団員数が激減していることを知りました。「安心して暮らせる街」である為にも、生活から切り離せない存在の消防団、成り手は、任せっきりになっていることも確かです。30~40年前と言えば、近隣の商店街も活気を帯び、第七分団の見守りがあることでも安心出来ました。

高齢化に反し青少年は減少の一途。第二のベビーブーム世代も、今では40歳代後半でしょう。住みやすい街づくりには、壮年・青年の力が必要です。

ここ数年、分団員の方達が定年となり退団されていく中、団員不足が深刻な問題となっているとのこと。

また、上岡氏は、「この状況を、地域の方はどのようにお考えになりますかね？ 団員が知人を集めれば？ 市役所に任せれば？ 本当にそれで大丈夫でしょうか？ 私を含め皆さんが住む地域です。自分の地域から一人でも多く団員を選出頂ければ幸いです。」と、話されていました。有志を募ります。

仕事に子育てに大変な時期と拝しますが、「誰かが・・と考えると担い手がいなくなります。今一度、自分の住む街、働く街を思って下さい。

社会的にも忙しい年代でしょうが、承知の上で地域の見守りに目をやり、暮しを守っていって欲しいと望みます。

〔大月〕

-今と昔-

消防団で得たもの

栄三丁目自治会／下舘 弘治

南街市民センターが開設される以前は、あの場所に市役所出張所、自治会(連合)、集会所、消防団詰所などがあり、市民活動の拠点になっていました。

私は昭和52年に第七分団へ入団しましたが、当時は小平市・立川市の一部まで応援区域があり、出動回数がかなり多かったと記憶しております。

消防活動以外では、春の多摩湖の花見、家族慰安会、団員旅行、幹部旅行など沢山の思い出があります。

私は結婚を機に南街に住みましたが、そのころ東大和市内の同僚は、会社の1人だけでした。

今では、同時退団した4人と夫婦で30年余りになりますが、北海道から沖縄まで旅行をし、会食を続けています。

また、同期7人の元分団長で親睦会を結成し、同じく旅行や、年数回の会食を継続しています。私には、消防団を通じて得た多くの友人知人が至極の財産であります。

一口メモ 【 長寿を祝う節目の年齢 】 (○は祝カラー)

●	還暦(61歳)	●	傘寿(80歳)	○	紀寿・百寿(100歳)
●	古希(70歳)	●	米寿(88歳)	○	茶寿(108歳)
●	喜寿(77歳)	○	卒寿(90歳)	○	皇寿(111歳)
		○	白寿 99歳	○	大還暦(120歳)

※長寿祝い、本来は数え年の誕生日で行うことが多いが、現在は、満年齢で行うことが一般的です。ただし、還暦は数え年で行います。

今回は、「敬老の日」に ちなんで卒寿を済まされた方々 からお声頂きました。 活字にしている時、頂いた言葉に、生きる力強さを感じさせられました。ポジティブに生きている方々にエールを贈ります。

自分自身何歳まで(？)活動できるかは未知ですが、何気ない言葉の中にも「今を生きている」と感じることが出来ました。

校正／佐藤（清）・ 編集責任／大月(恵)

河合雪子 様

健康のもとは好き嫌いがないことでしょうか？
魚類が好みですし、お寿司は毎日でも頂けます。
毎日と言えば、スクワット、腿上げ、あと、メールのやりとりも、隈なくやっております。
書くことと、数独を楽しんでいます。
身体が思うように動かない事がちょっと
ストレス・・でもこのままが良い、
今まで通りが良いです。

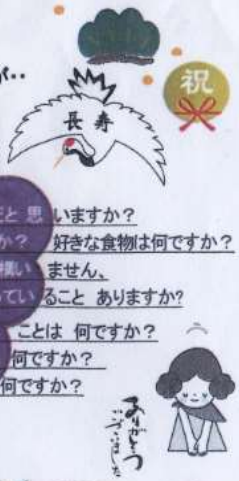
前田きえ子 様

健康の秘訣・・、特にありませんが、出来るだけ体を動かすように心掛けています。
就寝前に、足首回し、ヨガを少々、毎日続けています。
洋食より和食が好きですが、何でも食べます。
ストレス感じることなく、読書、料理、孫との外食などを楽しんでいます。
コロナで自粛されていて残念ですが、
旅行(温泉)に行きたいです。

佐藤リン 様

毎日の散歩(1時間)と3度の食事をきちんと食べられることが健康の秘訣だと思います。
好きな食べ物は、ご飯です。
楽しんでいること・・強いて言えばテレビです。
ストレスも、やりたいと思うことも ありません。

年齢にしばられない生き方 いつまでも若く過ごせるコツが・・



▲健康でいられる秘訣は何だと思いますか？
▲食べ物に好き嫌いはありますか？ 好きな食物は何ですか？
▲毎日又は週に数回でも続いていませんか、
欠かさずやっていること ありますか?
▲今、楽しんでいることは 何ですか？
▲ストレスを 感じることは 何ですか？
▲今後 やりたいことは 何ですか？

関 清一 様・奥 様

元気の素はよく分かりません。
一応三食をきっちり摂り、何か一つ集中できる趣味でも持つ、と言うことぐらいでしょうか。
行動は年齢相応にと考えて控えております。
好き嫌い・・この年になりますと、格別に
これと言った物はありません。
強いて言えば、美味しい物を少し
食べることでしょうか。
美味しいには個人差がありますねえ～。
田舎者ですので、山菜に興味があります。
俳句を作り、雑文を書く。そんなことが、
私の日課です。
ストレスと言えば、心身の衰えです。(老いれば当然のことと納得しています)
現状維持で、死ぬまで現役 (欲張りですね)
続けます。

(ご夫婦揃って卒寿を
過ぎておられます)